

団体名	美しい山形・最上川フォーラム		
事業名	身近な生活から発見！海のごみ？川のごみ？～一緒にぐるぐる考えよう～		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：テルス㈱ 川と海をつなぐ美しい元気な山形づくり事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	485,092円
		うち助成金額	450,000円



■事業目的 海岸漂着物問題を自分事ととらえ、一人ひとりがその日からできるアクションを見つけること、みんなで出来ることを考えるために、家庭や学校、地域での会話の機会が増えるような工夫をした事業を企画、小さなアクションから大きな動きへとつないでいくことを目的とし、実施した。

■実施内容

①「小さなプラスチックを見つけよう 洗濯ぐるぐる体験」普段の生活から出ているごみの現状を知るために、簡易洗濯機と顕微鏡を使用し、洗濯の際に出るマイクロファイバーを見てもらう体験事業。

新庄市環境フェアもがみ

(10/25)、小国町再エネフェス (11/3) 悪天候のため展示のみ

②海岸漂着物啓発パネル、海と川のごみ標本の展示、紙芝居上演、庄内海岸のジオラマを使用したマイクロプラスチック回収体験、クイズ等を実施。①以外にも、当団体で実施しているスポ GOMI 大会や青少年向けのSDGs研修、海ゴミ啓発イベントのブース等でも展示。酒田市立鳥海小学校 6 年生、山形市立金井小学校 4 年生への貸し出し (1～2 月)、長井市勸進代コミュニティセンター (12/3)、大江町ロータリークラブへの出張説明

(2/9)、天童市山形県青年の家でのボランティアリーダー養成講座「スポ GOMI とSDGs」(11/14)、海洋ごみマスターズ in 山形のモンテディオ山形試合会場での啓発ブース出展(9 月 3 回)、長井市消費生活者の会海洋汚染学習会での紙芝居上演 (2/19)、海と日本アニメ上映会場での展示 (2/20)。取り入れてくれた団体や参加学校等に、紙芝居から作ったミニブックを配布。

★学校や個人、団体等の希望のあったところへ貸し出しを行うことし、案内チラシを作成、県内教育委員会を通じて小中高等学校、当法人団体会員等へ発送、SNSを通じて広報。

③海岸漂着物問題啓発紙芝居(英語版)・紙芝居動画(日本語・英語)・クイズ作成(日本語・英語) 昨年度製作した紙芝居を活用し、英語版紙芝居、クイズを製作。製作した紙芝居の動画を日本語版、英語版で作り、web 上に掲載。

■事業の成果および

今後の展望

【成果】前半イベント形式が取れなかったため、SNS や貸し出しの呼びかけを行ったことにより、新たな可能性やニーズが見えた。特に学校からは学年後期の授業で取り入れたいとの問い合

わせがあり、数は多くないながらも授業の中に取り入れてもらうことができた。また、今年度はSDGs に取り組む団体等からも、SDGsの視点からの説明や体験への問い合わせがあり、幅広い地域や年代、新しい層で取り入れてもらうことができた。海のことだけでなく、川、湧水等併せて伝えることで身近に感じてもらえる事業につながった。

【展望】これまで当団体で実施してきた活動は年々広がりを見せてはいたものの、継続して取り組んでももらうことと、無関心な層にどう働きかけていこうかが課題だった。マイクロプラスチック問題、海岸漂着物問題単独ではなく、身近な生活や分かりやすいケースを入れて、SDGs の取り組みにもつながるような活動とアクションへのきっかけと一緒に取り組んでくれる仲間づくりの機会を作るため、活動の見せ方を工夫し、更に認知度を上げ、目に触れる機会を増やすことで、様々な主体の活動に取り入れてもらえるように、他団体と協働、連携にも力を入れていく。

HP:

<http://www.mogamigawa.gr.jp/>

活動はこちらから
ご覧いただけます

